

研究テーマ	対話を通し、対象への理解を深め興味を広げるための指導法の工夫 — 中学1年「季節を推理！にじみの世界」の実践を通して—
-------	--

日立市立駒王中学校 教諭 橋本 朋美

I 研究テーマについて

中学校学習指導要領美術編によれば、第1学年の鑑賞活動においては、『自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わうこと』を目標としている。そのために指導する事項は、B鑑賞の内容(1)のイ『身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めること』とある。

本研究のテーマである「対象への理解を深め興味を広げる」ために、生徒にとって身近に感じられる作者や画材で描かれた作品を用意する。自分と同じ出身地の画家であれば、自分が育ってきた環境と似た場所で描かれた作品もあり、その作品がどのような雰囲気を表しているか感じさせたい。さらに、今回の鑑賞で使用する作品は墨で制作されており、墨は生徒も習字の時間に触ったことのある画材であるため、技術の高さも想像しやすく、興味が湧いてくると考えた。また、作品のよさを説明し合うことで、個人の発想力だけでは気づきにくい細部までの工夫や作品の価値などに気づかせたい。

以上のことから、生徒が個人で考えたことを他の生徒との対話を通し、理解を深め興味を広げるために本県出身の横山大観の作品を題材に授業を実践した。

II 研究の実際

1 題材名 季節を推理！にじみの世界

2 題材の目標

- (1) 絵画の魅力について関心をもち、作者が伝えたい作品のよさや美しさを意欲的に感じ取ろうとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) お互いの考え方に共感したり、自分の考えを発表して意見交換したりすることを通して、自分の価値観を深め鑑賞することができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 生徒の実態

美術科の鑑賞に関するアンケート		平成28年10月3日実施 計34名
1 あなたは美術の授業の中で、「鑑賞の授業」は好きですか？	1 好き9名 嫌い3名 どちらでもない22名	
2 (水墨画を掲示して) 掲示された作品について、あなたはこの作品が何と呼ばれているか知っていますか？	2 知っている 6名 (すみ絵5名・水墨画1名) 知らない 28名	

本学級の生徒は、美術科の表現活動に熱心に取り組むことができる。鑑賞活動においては、大和絵の絵画鑑賞を1回、生徒作品の相互鑑賞を2回行っている。また、

上記のアンケートから、鑑賞活動に対し「どちらでもない」と答える生徒が多数を占めた。好きと答えた生徒は理由として「友達の作品が見られるから」「見たことのないおもしろい作品が見られるから」などがあがった。嫌いと答えた中には「何て言えばいいかわからない」という生徒がいた。どちらでもないと答えた生徒でも、鑑賞活動に対し意欲的に取り組む生徒が多い。また、水墨画を知らない生徒が大半であることの理由の一つとして、小学校での授業で水墨画を扱ったことがないと考えられる。水墨画と言いついた生徒は社会科が好きで知っており、社会科の知識から結びつけられたことが分かった。水墨画を「知らない」と答えた生徒が多かったが、その中には感想として「和風な感じがする」「黒だけで描かれていておもしろい」など和を感じ取り、墨のみで描かれているおもしろさに気づく生徒もいた。

これらの結果から、言葉にする難しさを抱えた生徒のために、個人で考える時間を十分に用意し、さらに生徒同士の対話の活動を通して作品の理解を深め鑑賞活動の楽しさに気づかせたい。また、水墨画を知らない生徒に対して導入で紹介することで親しみやすさを感じさせたい。

(2) 題材観

横山大観（1868年～1958年）は明治から昭和にかけて活躍した日本画家であり、現在の水戸市出身である。岡倉天心を師と仰ぎ、朦朧体と呼ばれる明確な輪郭をもたない没線描画の技法を確立させた一人である。本県出身ということで身近に感じさせたい。

今回用意した作品『山四趣』は春から冬までは1925年に描かれたものであり、春が霞、夏が雨、秋が風、冬が雪をそれぞれ表現している。墨のにじみ方や筆のタッチから季節感を推測するのに適した作品となっている。

(3) 指導観

本題材では、複数の作品を見比べることによりその共通点や相違点を見つけ、作者の工夫や心情について考えたり想像したりする「比較鑑賞」を取り入れる。横山大観の『山四趣』春から冬までの4つの作品を用意した。生徒はこれら4つの作品の季節を当ててことを目標に鑑賞活動に取り組む。今回は、墨一色で描かれた水墨画を取り上げるため、生徒は墨の濃淡や余白、筆のタッチなどを手がかりとして感性や想像力を働かせながら自分の考えを言葉にする。さらに、4～5人の班での話し合い活動で、他者の推理と自分の考えをすり合わせていく。互いの考えを深めながら作者が伝えようとする季節について意欲的に考えていくことをねらいとする。本時では、生徒一人一人が自分の考えをもち、話し合ったり説明し合ったりすることで作品に対する見方や感じ方を広げられるよう指導していきたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	鑑賞の能力
絵画の魅力や美術の魅力について関心を持ち、作者が表現した作品のよさや美しさを感じ取り味わおうとする。	作品に対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を深めることができる。

5 指導と評価の計画（1時間扱い）

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
1	<ul style="list-style-type: none"> ・横山大観の水墨画作品を4点鑑賞する。 ・個人で何が描かれているか読み取る。描かれている季節を考える。 ・班で季節を推理し、理由をつけて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の工夫や美しさの要素を進んで見つけることができる。 <p style="text-align: right;">関【観察・ワークシート】</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを意欲的に発表したり、友達の意見を自分の考えと比べながら聞いたりすることができる。 <p style="text-align: right;">関【観察・発表】</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・作品に対する自分なりの見方や感じ方を深めることができる。 <p style="text-align: right;">鑑【ワークシート】</p>

6 指導の実際

(1) 授業の流れと時間配分

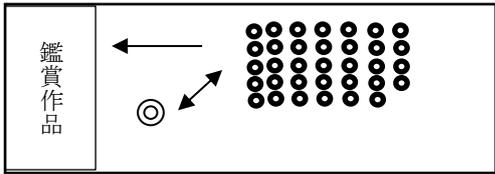
時間	流れ	形態	学習活動
2分	導入	全体	本時の学習課題をつかむ。
3分		個人	ワークシートをもとに作品や作者について知る。 (出身地や経歴・制作年代など)
5分	展開	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの作品に描かれているものを読み取る。 (山、船など要素に分解して書き出す) ・季節を予想する。 (描かれているものや余白、墨の濃淡など)
15分		班	個人の意見を合わせて理由をつけて季節の推理をまとめる。
15分		全体	まとめた画用紙をもとに班ごとに季節について発表する。
5分	まとめ	全体	季節の答え合わせと描かれているものを解説する。
5分		個人	振り返りを記入する。

(2) 授業の展開

◇準備・資料

横山大観『山四趣』4点、ワークシート、発表用の画用紙、油性ペン

◇展開

学習活動・内容	活動の支援と評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。【全体】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>4つの作品を観察し、話し合いながら四季を推理しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県出身である横山大観の説明を聞く。 ・茨城県天心記念五浦美術館から借りた日本画であることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画と出会わせ、じっくり鑑賞してみたいという気持ちを引き出す。 ・本時の課題から、季節を探るには互いの感じ方を交流させることが大切であることを理解させ、活動の見通しをもたせる。 ・普段の美術の授業と同じ名前の順に、床に座らせる。机ではなく床に座ることで作品との距離が近くなり、作品に近づいたり、班になって活動したりするなど形態変化を容易にさせる。 ・横山大観の生い立ちを簡単に説明し、茨城県が輩出した有名な画家を身近に感じさせる。

<p>2 作品から情報を読み取る。【個人】</p> <p>(1) 作品の題名を想像して書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『穏やかな春』『風が吹くススキ野』など <p>(2) 描かれているものを書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海, 船, ススキ, 雪, 空 など <p>(3) 四季を予想し理由をつけてワークシートに記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『春』墨が薄く, 穏やかな感じがするから。 『夏』山の色が濃いので緑が濃い山に見えるから。 『秋』ススキが描かれているから。 『冬』雪が描かれているから。 など <p>3 班ごとに作品を鑑賞する。【班】</p> <p>(1) 感想を発表し合い, 意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に対する初発の感想を画用紙に出し合う。 <p>(2) 根拠をもち, 四季を予想して話し合う。</p> <p>班で話し合う中で新たに感じた作品の魅力や, 初発の感想との違いに着目しながら意見を出す。</p> <p>4 班ごとに作品の魅力について意見をまとめて発表する。【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で出た作品の魅力について, 他の班を納得させるような内容をまとめて代表者が発表する。 <p>(まとめの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬は一番白の面積が広いから, 雲でなく雪を表している。白で雲も雪も表現できることがおもしろい。 ・水墨画は余白も大切に, 隅々まで描かれていないところに想像力が働いておもしろい。 <p>5 作品の解説を聞き, 振り返りシートの記入と, 次回の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節だけでなく, その季節のどんな状況を表現しているか題名をつけることで考えやすくさせる。 ・一人では題名を想像できない生徒のために, 文例を用意して記述しやすくする。 ・根拠をもって四季を記述できるように, 墨の濃淡や筆のタッチなど, 細かな表現の違いに着目するよう声をかける。 <div data-bbox="799 618 1437 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) 鑑賞の能力</p> <p>自分の感じた事を他者に伝えたり, 周囲の感じた事を受容したりしながら, 水墨画の魅力を感じ取り見方を広げることができたか。(ワークシート, 観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの考えを引き出すために机間指導でそれぞれの班に必要なアドバイスをする。 ・意見を述べる時に, 批判はいつさいしないことをルールづける。 ・水墨画の美しさや墨だけで描く面白さ, なぜ良いと感じたのかを言及していけるよう声かけする。 ・話し手は聞き取りやすい声の大きさや, 全体へ体を向けるなど発表の基本ができていないか, 聞き手は話し手に体と意識を向けているか確認する。 <div data-bbox="799 1473 1437 1686" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) 関心・意欲・態度</p> <p>作品の魅力や美術の魅力について関心をもち, 作者が表現した作品のよさや美しさを感じ取り味わおうとしているか。(ワークシート, 観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・四季を当てさせるが, 正解したことが正しいのではなく, 根拠をもち自分なりの見方で作品を鑑賞することが大切であることを気付かせる。 ・ワークシートの振り返り欄を記入し, 本時のまとめを確認する。あわせて次回の授業の用意を確認する。
--	--

Ⅲ 研究の成果と課題

1 成果

授業後にワークシートを確認したところ、9割の生徒が作品に対する自分なりの見方や感じ方を深めることができていた。初めて水墨画を見た生徒も、「(墨の)色の変化だけで季節を表せているのがすごい」など、黒一色でも鮮やかさや表現の幅が出ることを実感することができた。

班代表生徒の発表では、春の絵の中に小さな船を見つけた発言から、他の班の生徒が「もっと細かく絵を見てみたい」という感想をもつことができた。授業の終わりも、細部まで目を凝らして観察する姿が見られ、感想を発表することで生徒同士の学び合いができた。

2 課題

季節を当てることが目的のように感じてしまう生徒も見られたので、それだけで終わりとならないような声かけが不可欠である。

また、絵を見る際の視点を生徒に委ねてしまったことで、新しい見方ができない生徒も見られた。助言するのであれば、クイズ形式にして「山はいくつある?」「天気はどうなっている?」「住むならどこがいい?」など、見方を提供できるような声かけやヒントカードを用意したい。技術面で言えば、水墨画独特の技法であるにじみ・ぼかし・かすれ・濃淡・余白、この5つに注目させてから鑑賞すると作品のよさに気づきやすい。そのために、鑑賞の前に水墨画を制作させる表現の分野と連続で行えるとより深い学びに繋がると感じた。

※資料 (鑑賞風景)



(生徒のワークシート)

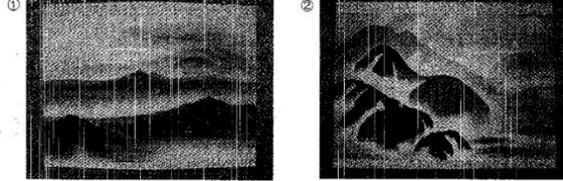
季節を推理! にじみの世界

氏名 _____

学習課題 この作品を観察し、絵に書いてある四季を推理しよう!

[横山 大観] 作者の説明
 横山 大観 … [茨城県水戸市]生まれ、1868~1958、日本画家。
 朦朧体と呼ばれる技法をつくった。(線で輪郭を描かず色の濃淡で描く)

◎描かれているものを読み取ろう (表現主題)



墨の濃さ (濃さ)	余白 (余白)
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	夏 (雨の音、涼しさ、緑の葉)

墨の濃さ	余白
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	春 (少し暖かい、霧気があふ)



墨の濃さ	余白
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	秋 (上の山と下の山、紅葉の葉)

墨の濃さ	余白
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	冬 (雪が降り、白く静か)

今日の振り返り
 絵を観ると、鳥が飛んでいると、夏か冬か、春か秋か、と、細かく観察すると、

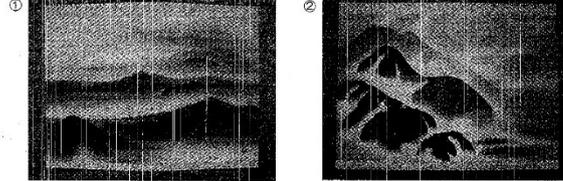
季節を推理! にじみの世界

氏名 _____

学習課題 この作品を観察し、絵に書いてある四季を推理しよう!

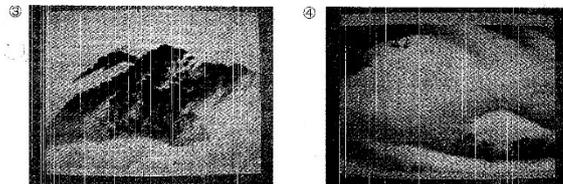
[横山 大観] 作者の説明
 横山 大観 … [茨城県水戸市]生まれ、1868~1958、日本画家。
 朦朧体と呼ばれる技法をつくった。(線で輪郭を描かず色の濃淡で描く)

◎描かれているものを読み取ろう (表現主題)



墨の濃さ (濃さ)	余白 (余白)
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	春 (少し暖かい、霧)

墨の濃さ	余白
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	夏 (涼しさ、緑)



墨の濃さ	余白
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	秋 (紅葉、静か)

墨の濃さ	余白
薄い・濃い	少ない・多い
季節は、	冬 (雪、静か)

今日の振り返り
 絵を観ると、鳥が飛んでいると、夏か冬か、春か秋か、と、細かく観察すると、